

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：霞台保育園	種別：認可保育所			
代表者氏名：千葉 美江子	定員（利用人数）：80（73）名			
所在地：横浜市保土ヶ谷区41-5、2-3				
TEL：045-331-0877	ホームページ： http://www.kasumidai.com			
【施設・事業所の概要】				
開設年月日 2005年4月1日（1949年3月個人立の霞台保育園創設）				
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 みどりのこみち会				
職員数	常勤職員：20名		非常勤職員：10名	
専門職員	保育士：園長、副園長 2人		看護師：1人	
	保育士：主任、副主任 3人		栄養士：3人	
	保育士：16人		調理師、調理員：2人	
施設・設備 の概要		本園	分園	本園
	乳児室	1室	2室	建物の構造：木造平屋建て
	幼児室	3室	0	延べ床面積：179.62㎡
	沐浴室	0	1室	園庭：244.67㎡
	調理室	1室	1室	分園
	トイレ	5室	4室	建物の構造：鉄骨造地下1階地上1階
	事務室	1室	1室	延べ床面積：213.56㎡
	職員休憩室	1室	1室	園庭：117.01㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

『霞台保育園の仲間「愛される」ことを知り「愛する」ことを伝え続けていきたい。

○私たちは、一人ひとりの「らしさ」を大切にし、成長を互いに喜びとします。

○私たちは、友との出会いを大切にし、言葉と行動に「こころ」が宿ることを信じます。

○私たちは、隣人とのつながりの輪を大切にし、笑顔がこぼれる「風土」を築きます。

いまここ、このとき、みんなといっしょに』

【基本方針】

★「心を育てる」を目標に、また キリスト教保育として聖書を通して神さまやイエスさまのことを覚え、感謝の心が育つように願います。

★人として一番大切な能力である「人と関わる力」を、保育園での生活や遊びの中で身に付けてゆき、「生きる力」「生きていく力」の基礎作りにつなげていきます。

★礼儀や伝承遊び、マナーなど古くからの日本の文化を伝えていくことで、挨拶がで

きる、相手のことを思いやるなど大人になる為に大切な基本的な生活習慣の礎を作ります。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

霞台保育園は、JR保土ヶ谷駅から徒歩約10分の高台の上に、2～5歳児57名（定員60名）が生活する本園、高台のふもとに、0、1歳児16名（定員20名）が生活する分園があります。いずれも平屋で、園庭を囲んだ日当たりのよい明るい保育室となっています。令和3年度現在、本園は「木」をテーマに温かみを感じられる園舎をコンセプトとして、大規模改修を実施しています。横浜駅まで一駅という近さのため、都内へ通勤する保護者も多く、園児も横浜公園や馬車道などへ、よく出かけています。

【園の特徴】

昭和24年に個人立の園として開園し、平成17年に社会福祉法人化し、平成18年に分園を開設しました。古くから当地にある園として親しまれ、3世代にわたりこの園に通う家族があったり、卒園生が保育士として就職したりしています。

ランドマークタワーが間近に見える都会的な環境のなかで、園創設の頃からある足踏みオルガンが今も大切に弾き継がれ、昔ながらのぬくもりのある家庭的な保育が展開されています。子どもの集中力を削がないように、過度な壁面装飾を控え、3歳以上の子どもは、背もたれのない椅子を使用しています。0歳から卒園まで、全園児を縦割りの4つの「なかよしかぞく」に分け、行事を中心に異年齢で過ごす機会が多くあります。3歳と5歳、2歳と4歳の2人組で「相棒」を定め、年上の子が年下の子の面倒を見ています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年4月20日（契約日） ～ 2022年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2016年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 保護者との良好なコミュニケーション

設立当初からの家庭的で温かい雰囲気引き継がれており、職員のことを子どもも保護者も「先生」と呼ばず、お互いを名前で呼び合うことで、話しやすく、相談しやすい関係が築かれています。主任保育士でもある理事長を含め、職員は送迎時にはできる限り積極的に保護者と話をするように心がけています。

2. 子どもの気持ちやペースを尊重した丁寧な対応

職員がよりどころとしている「スタッフ必携」には、ごり押し保育、言い聞かせ保育をしないこと、「どうしたらできるかしら」と「問い掛け保育」をすること、正しい日本語、丁寧な言葉を使うことについての記載があり、職員は実践しています。利用者家族アンケートでは、子どもへの接し方や基本的な生活習慣、自立への取組について回答した全保護者が肯定的な回答をしています。

3. 子どもが思い切り園庭で遊べる工夫

園では薄着・裸足を奨励し、乾布摩擦を取り入れたり、園庭でも裸足で遊ぶようにしています。子どもや保護者が服の汚れを気にせず、思い切りどろんこ遊びができるように、2歳以上の子どもは、汚れても良いパンツ、シャツを「どろんこセット」と

して保護者に毎日用意してもらい園に置いています。園児は自分のお気に入りの場所で集中して思い切り好きな遊びをしています。

◇改善を求められる点

1. この園に即した総合的な人材育成の体制整備を

職員一人ひとりの育成に向けて、目標の設定・目標の進捗状況・目標達成度を確認する「目標管理制度」を導入するとともに、人事基準を明確化し、職員が自ら将来の姿を描き、見通しを持つことができるような総合的な仕組みづくりの整備が求められます。

2. 全職員を交えた組織的な保育の質の向上への取組を

第三者評価結果や毎年の園の自己評価の分析・検討を、職員一丸となって組織的に実施していくことが期待されます。さらに、評価結果から明確になった課題について、理事長が主導するだけでなく、全職員の参画のもとで改善策を検討し、改善計画を策定した上で計画的に改善の取組を進めていくことが期待されます。

3. 各種マニュアルの再整備を

当園で長く引き継がれている「スタッフ必携」が保育業務全般にわたる基本マニュアルとされていますが、内容により、基本方針や責任者、手順、管理体制等が明確化されていない事項があります。分野ごとのマニュアルを再整備することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審して

社会福祉法人 みどりのこみち会
霞台保育園
園長 千葉 美江子

今回第三者評価を受審して、改めて様々な計画を立てる事の難しさを感じました。単年度の計画は子どもの様子や受持ちのスキルや考え方などを考慮した上で毎年行っていますが、今後は中長期計画を含めて複数年度の全体の計画を立てる事を、大きな課題とする意識が持てました。

その中で、保護者の方からのアンケートの回答率が高かったとの事で、保護者の方の保育園への関心の高さと距離間の近さを感じました。

内容もいい事ばかりではなくキチンとしたご意見、感想も頂けたので、今後の保育の参考にもなりました。

今後もその距離感と信頼関係を高めながら、毎日の保育に邁進しようと思います。

以上

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり